

県民の森の植物 71 コシアブラ (ウコギ科 コシアブラ属)

「山菜の女王」とも呼ばれるコシアブラ。独特の香りとコクが人気で、仲間のタラの芽(タラノキの新芽)と並ぶ山菜として食されています。昔はコシアブラの木の樹脂を塗料にしたことが名の由来。新芽を採っていると、手が油でツヤツヤになります。葉は掌状複葉で5枚の小葉を持ちます。トチノキの葉に似ていますが、小葉に柄がある方がコシアブラです。秋の黄葉も独特で、透きとおったレモン色です。他にこのような色に染まる木はなく、山の彩りに華を添えてくれます。

七滝登山道では低木ばかりが目につきますが、じつは高木も多く、美しい落ち葉ではじめてその存在に気付かされます。秋に出来る果実は熟すと黒くなり、野鳥たちの貴重な食糧となります。ウコギ科の木は冬芽も独特で、コシアブラは人間の爪に似ています。葉痕は真珠のネックレスのよう。まるでイモムシのようにも見えて可愛らしく、出会うと嬉しくなる冬芽です。



【冬芽】 3/9



【芽吹き】 4/17



【新芽】 5/3



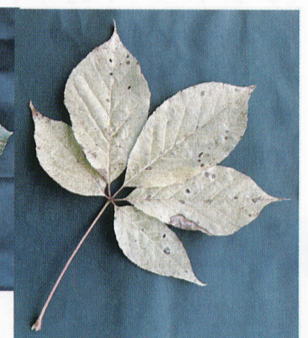
【新緑】 6/11



【果実】 9/28



【黄葉】 10/19



【左：トチノキ / 右：コシアブラ】